

農業への夢を実現する大阪農大！

農業大学校

1. 背景と目的

大阪でも「道の駅」などで、さまざまな地元産の野菜や果物が販売され、たくさんのお客さんにぎわっています。

「大阪産(もん)」はその代表選手。大阪の農林水産物とそれらを原材料にした加工品であり、お土産などにもおススメ！

そんな豊かな農産物を育ててくれているのは、府内の農業者さんです。大阪府の総人口約884万人のうち、農業者は約1.5万人と少数精鋭で大阪の食文化を支えています。

当所は、明日の大阪農業の担い手をはぐくむ「農業大学校（大阪農大）」を設置しています。

本校は農業後継者や農業技術者の養成を行う研修施設であり、幅広い視野から農業を考え、時代の変化に対応した技術力と判断力、応用力を身につけていただくことを方針としています。

2. 事業の内容／調査方法と結果概要

高校卒業以上の方を対象に、講義と実習を組み合わせた2年間の実践的な研修を実施します。2年生から3コースに分かれて、専門的な知識・技術を習得します。

●農業技術研鑽コース

大阪における最先端の農業研究を実施する当所の研究部門のサポートにより、専門的な知識を習得します。

●農業実践コース

学生自らが作成した経営計画に基づき、ほ場の周年管理を行い、技術力と経営力を習得し、就農をめざします。

●農業参入コース

長期の農家実習や校内での実習を重視し、卒業後はすぐに新規就農できる担い手の育成をめざします。

3. 今後の方向性／考察

府内の農業者の多くは70歳前後と高齢化し、リタイアする農家がさらに増加していくと予想されています。

一方で、新規参入者・定年帰農者の増加、若手農業者による従業員雇用や経営規模の拡大が進められています。

このような情勢の中、当所にある利点を生かし、研究員が有する最先端技術、広大な実習フィールド、教員と農業者とのつながりをフル活用した研修体制で、有能な農業者、農業技術者の育成をめざします。